

市自連ニュース

令和7年3月15日(第36号)

発行：座間市自治会総連合会

発行責任者：湯浅一弘

〒252-0021

座間市緑ヶ丘1-1-1 ふれあい会館2階

電話/FAX：046-252-8751

URL <https://shijiren-zama.com/>

Eメール shijiren-zama@nifty.com

回覧



今回は紙ごみにまつわる取り組みとそれに関する工場見学レポート、そして防災をテーマにした市レクについてお知らせします。

循環型社会をめざして



市自連は座間市が目指す循環型社会を推進するため市内のミックスペーパーを集荷する榎大久保とトイレットペーパーに再生するコアレックス信栄榎の工場見学を行うサポートをしました。

コアレックス信栄榎まで、約2時間の移動時間を利用してミックスペーパーとして出せる紙の種類の話や座間市は「ごみという概念をやめ、再利用できるものという考えに立って行動する」との説明がありました。

座間市と令和5年度防災協定を締結しており、被災したときはトイレットペーパーを供給しているだけになっているそうです。



広野台地区自連が回覧と掲示板で案内したところ22名の参加者が集まり2月4日(火)に見学会を実施しました。



一日、皆さん一緒に行動する事で今まで顔を知っていただけだった方達ともコミュニケーションが取れ、楽しそうでした。

ミックスペーパーは自治会の各集積場所から栗原にある榎大久保に運ばれます。

富士川サービスエリアで昼食後、工場に向かいました。



参加者からは

「こんな機会でなくては経験の出来なかったことなので良かった」「楽しかった」「またこのような企画があれば参加したい」という意見があったことはこの企画が成功だったと思います。

集められたミックスペーパーは異物を排除しながら約1トンの大きさのブロックにまとめ、再生工場に出荷されます。

コアレックス信栄榎は、災害時には会議室を地域の避難所としたり、障がいのある方の就労場所を作る等、地域貢献もされていました。

次回は他の地区でも見学していただければよいと思いました。



テーマは「防災」

新田宿・四ツ谷市民レクリエーション

令和6年度の新田宿・四ツ谷市民レクリエーションは、気温も低く、小雨交じりのあいにくな天候の中、開催されました。



どんより曇った開会式

集まった人々の表情も少し曇り気味でしたが、そんな空気を一変してくれたのは、出張先の福島県須賀川市から駆けつけてくださった佐藤市長でした。270km離れた須賀川市を早朝に出発して、10時の開会式直前に到着されました。その姿に、一同驚き、感動したのでした。



出張先の福島県須賀川市から
駆けつけてくださった佐藤市長

さて、今回の市民レクリエーションのテーマは「防災」です。四ツ谷に続いて、新田宿でも今年度4月に自主防災組織が立ち上がりました。

しかし住人への認知度は低いことから、みんなが集まる市民レクリエーションでその活動を知っていただき、防災意識を高めていただくということになりました。

スポーツ競技も二人一組で風船を背中に挟んで運ぶものや、目隠した競技者を介助しながら誘導する目隠しパン食い競争など、協力しあいながら競うものにして、顔の見える人間関係の構築を意識しました。



協力しあいながら楽しめる競技

また、例年は仕出し弁当を支給していましたが今年は災害時の炊き出しをイメージして、豚汁と甘酒を振る舞いました。豚汁の材料の野菜は、地元の方々から提供していただき、調理にはボランティアの方々を手伝っていただきました。低い気温のおかげでこれらの暖かい食べ物は大好評でした。



地元の野菜とボランティアで作った豚汁
甘酒も併せて大好評でした

そして、新田宿・四ツ谷コミュニティセンター内に、自主防災組織のパネルを設けて、四ツ谷の萩原会長、新田宿の波多野会長に自主防災組織の活動をアピールしていただきました。



自主防災組織のパネル
大勢の方々に認知していただきました

豚汁と甘酒の食事券は、両会長からしかもらえないようにしたため、参加者全員が、説明を受けることになりました。

単なるレクリエーションではなく、災害時に協力しあえる関係づくりをしていただき、四ツ谷、長安寺、新田宿の自治会は、防災に力を入れているのだというアピールができたと思います。

これからもこのような活動をしていながら、他の地区に遅れをとっている災害への備えを加速させたいと思います。

また、今回多大なる協力をいただいた新田宿・四ツ谷コミュニティセンターの皆様、この場をお借りして感謝を申し上げます。



大いに盛り上がったプレゼント抽選会